

# KIKUCHI MOBILE PROJECTION SCREEN

AV Stumpfl  
MONOCLIP64

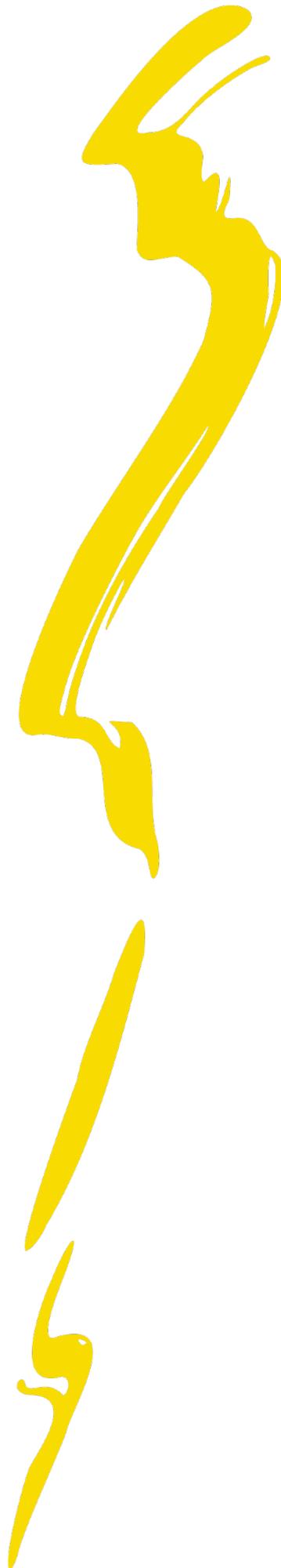


簡易組立型モバイルスクリーン  
(MBLCF/MBLCR/MBLCG)  
取り扱い及び設置説明書

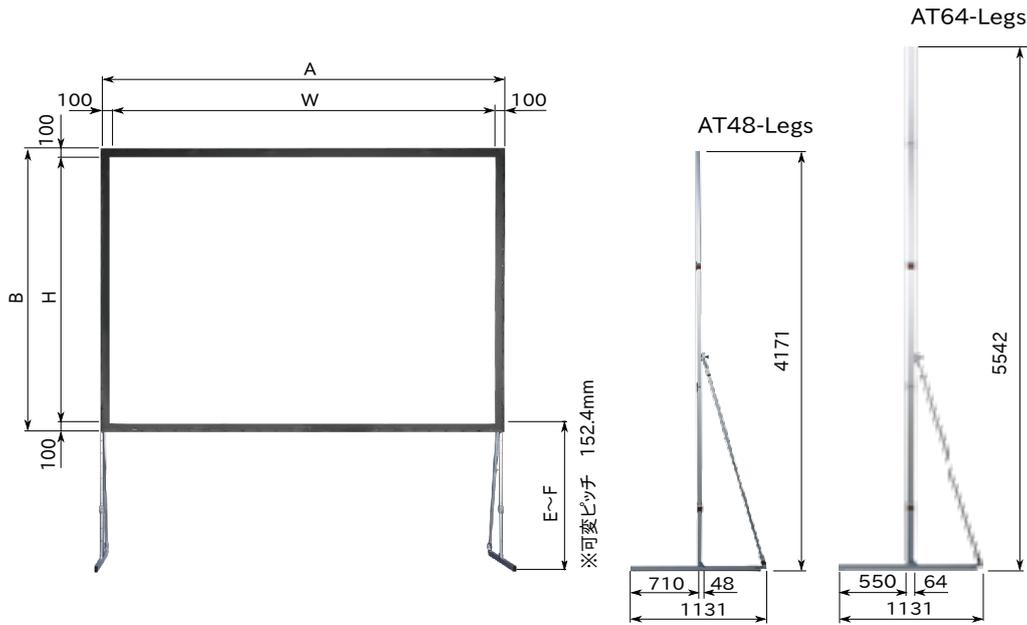


この度は、AV Stumpfl 社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
製品を正しくお使いいただくため、本書をよくお読みください。  
お読みになったあとは、大切に保管してください。

目次・・・・・・・・・・1  
スクリーン寸法図・・・・・・・・2  
スクリーン規格一覧・・・・・・・・2  
安全上のご注意・・・・・・・・3  
スクリーン組み立て方法・・・・4~7  
スクリーンの片付け方法・・・・8  
使用上のご注意・・・・・・・・9



# スクリーン寸法図



## スクリーン規格一覧

### NTSCサイズ(4:3)

型番			イメージサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量				付属 スタンド	イーザー フライ64 個数
フロント	リア	クロマキー				Min (E)	Max (F)	スクリーン			フレーム		
							フロント	リア	クロマキー	フレーム			
MBLCF-150	MBLCR-150	MBLCG-150	3050 × 2290	3250 × 2490	AT48-Legs	187	1711	3.5	3.8	4.7	14.9	15.0	2
MBLCF-180	MBLCR-180	MBLCG-180	3660 × 2740	3860 × 2940	AT48-Legs	187	1711	4.8	5.1	6.5	17.7	15.0	2
MBLCF-210	MBLCR-210	MBLCG-210	4270 × 3200	4470 × 3400	AT48-Legs	187	1711	6.3	6.7	8.5	19.5	15.0	3
MBLCF-240	MBLCR-240	MBLCG-240	4880 × 3660	5080 × 3860	AT48-Legs	187	1711	7.9	8.5	10.9	21.5	15.0	3
MBLCF-270	MBLCR-270	MBLCG-270	5490 × 4110	5690 × 4310	AT48-Legs	187	1711	9.8	10.5	13.5	24.1	15.0	3
MBLCF-300	MBLCR-300	MBLCG-300	6100 × 4570	6300 × 4770	AT64-Legs	187	1711	11.8	12.7	16.4	26.2	19.0	3
MBLCF-330	MBLCR-330	MBLCG-330	6710 × 5030	6910 × 5230	AT64-Legs	187	1559	14.1	15.2	19.5	29.9	19.0	3
MBLCF-360	MBLCR-360	MBLCG-360	7320 × 5490	7520 × 5690	AT64-Legs	187	1406	16.6	17.8	23.0	31.6	19.0	3

### HDサイズ(16:9)

型番			イメージサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量				付属 スタンド	イーザー フライ64 個数
フロント	リア	クロマキー				Min (E)	Max (F)	スクリーン			フレーム		
							フロント	リア	クロマキー	フレーム			
MBLCF-138HD	MBLCR-138HD	MBLCG-138HD	3050 × 1720	3250 × 1920	AT48-Legs	187	1863	2.8	3.0	3.7	12.8	15.0	2
MBLCF-165HD	MBLCR-165HD	MBLCG-165HD	3660 × 2060	3860 × 2260	AT48-Legs	187	1863	3.8	4.0	5.1	15.1	15.0	2
MBLCF-193HD	MBLCR-193HD	MBLCG-193HD	4270 × 2400	4470 × 2600	AT48-Legs	187	1711	4.9	5.3	6.7	17.0	15.0	3
MBLCF-220HD	MBLCR-220HD	MBLCG-220HD	4880 × 2740	5080 × 2940	AT48-Legs	187	1711	6.2	6.6	8.4	20.7	15.0	3
MBLCF-248HD	MBLCR-248HD	MBLCG-248HD	5490 × 3090	5690 × 3290	AT48-Legs	187	1711	7.6	8.2	10.4	22.2	15.0	3
MBLCF-275HD	MBLCR-275HD	MBLCG-275HD	6100 × 3430	6300 × 3630	AT64-Legs	187	2168	9.2	9.9	12.6	24.0	19.0	3
MBLCF-303HD	MBLCR-303HD	MBLCG-303HD	6710 × 3770	6910 × 3970	AT64-Legs	187	2016	10.9	11.7	15.0	26.4	19.0	3
MBLCF-330HD	MBLCR-330HD	MBLCG-330HD	7320 × 4110	7520 × 4310	AT64-Legs	187	1863	12.8	13.7	17.6	28.2	19.0	3

### WUXGAサイズ(16:10)

型番			イメージサイズ (W) × (H)	外形寸法 (A) × (B)	付属 スタンド	スクリーン高さ		重量				付属 スタンド	イーザー フライ64 個数
フロント	リア	クロマキー				Min (E)	Max (F)	スクリーン			フレーム		
							フロント	リア	クロマキー	フレーム			
MBLCF-142WX	MBLCR-142WX	MBLCG-142WX	3050 × 1910	3250 × 2110	AT48-Legs	187	1863	3.0	3.2	3.4	13.1	15.0	2
MBLCF-170WX	MBLCR-170WX	MBLCR-170WX	3660 × 2290	3860 × 2490	AT48-Legs	187	1711	4.1	4.4	4.6	16.6	15.0	2
MBLCF-198WX	MBLCR-198WX	MBLCR-198WX	4270 × 2670	4470 × 2870	AT48-Legs	187	1711	5.4	5.8	6.0	17.4	15.0	3
MBLCF-227WX	MBLCR-227WX	MBLCR-227WX	4880 × 3050	5080 × 3250	AT48-Legs	187	1711	6.8	7.3	7.6	20.4	15.0	3
MBLCF-255WX	MBLCR-255WX	MBLCR-255WX	5490 × 3430	5690 × 3630	AT48-Legs	187	1711	8.3	9.0	9.4	22.8	15.0	3
MBLCF-283WX	MBLCR-283WX	MBLCR-283WX	6100 × 3810	6300 × 4010	AT64-Legs	187	2016	10.1	10.8	11.3	24.7	19.0	3
MBLCF-311WX	MBLCR-311WX	MBLCR-311WX	6710 × 4190	6910 × 4390	AT64-Legs	187	1863	12.0	12.9	13.5	27.2	19.0	3
MBLCF-340WX	MBLCR-340WX	MBLCR-340WX	7320 × 4570	7520 × 4770	AT64-Legs	187	1711	14.0	15.1	15.8	30.1	19.0	3

単位=mm/kg



**注意**

最高位置でスクリーンを設置する場合は安全のため、重りを置くなどして転倒防止の措置をとってください。

# 安全上のご注意

必ずお守り下さい

お使いになる方やほかの人への危害と財産への損害を未然に防止し、正しく安全にお使いいただくために重要な内容を次のように説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり記載事項をお守りください。記載事項を守らないことにより生じた損害、天災等による損害について当社は一切責任を負いません。

■ 表示内容を守らずに誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の区分で説明しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守り頂く内容を次の区分で説明しています。

	してはいけない「禁止」を示します。
	「必ず実施していただくこと」を示します。

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 組み立ては、スクリーンの大きさ・重量に応じて必要な人数で行ってください。</li><li>● スタンドを設置する場合は、平らな場所を選んでください。スタンドが傾いていると転倒する恐れがあります。</li><li>● 人が通らない場所を選んで設置し、お子様などが誤って触れないよう充分注意してください。</li></ul>
 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● スクリーンは、屋内での使用を想定して設計しております。屋外などの風の影響を受ける場所では、スクリーン全体的に大きな力が加わり転倒する恐れがありますので、必ず屋内で使用してください。</li><li>● 屋内の使用であっても、出入り口や搬入口が開いている場合は風が吹き込んでスクリーンが転倒する危険性がありますので注意して下さい。</li></ul>
 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● スクリーン及びスタンドはケース収納後、縦置きにしたり壁などに立てかけたりして放置しないようにしてください。転倒する危険性があります。</li></ul>

## 防災ラベル



消防法により不特定多数の人が出入りする公共施設に設置されるスクリーンは、防災性能試験に合格したスクリーンを使用することが義務付けられています。防災ラベルは防災性能試験に合格したことを証明するもので、スクリーン生地裏側に防災ラベルが貼られていることを確認して下さい。

## 付属品

フレーム縦横  
ジョイント用

 M8×15mm  
蝶ボルト  
5本(予備1本含む)

スタンド  
サポートバー固定用

 M8×55mm  
蝶ボルト  
3本(予備1本含む)

AT48-Legs用

 M8×70mm  
蝶ボルト  
7本(予備1本含む)

AT64-Legs用

 M8×85mm  
蝶ボルト  
9本(予備1本含む)

イージーフライ64

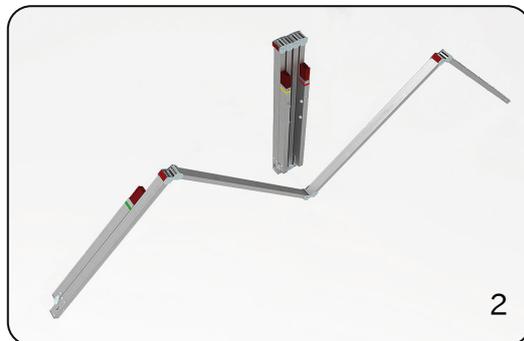
 180"以下  
2個  
193"以上  
3個

# スクリーン組み立て方法

## (1) スクリーンフレームの組み立て

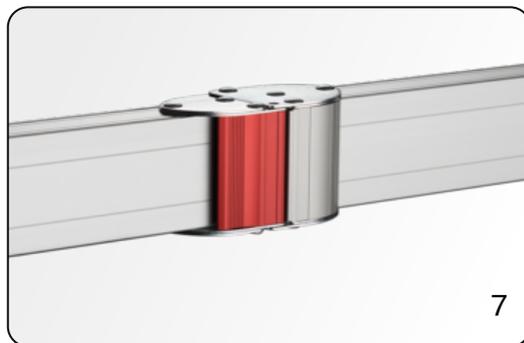
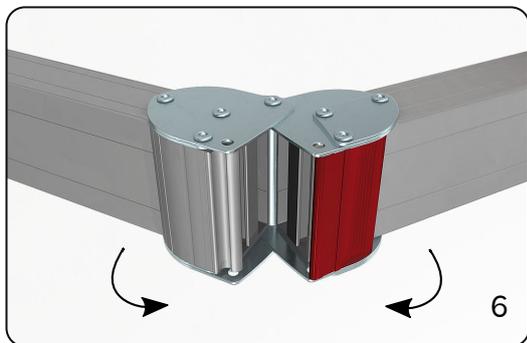
●折りたたまれているフレームを広げます。

(基本構成：トップバー/ボトムバー/バーチカルモジュール左右)



**!** フレーム関節部がロックしたことを必ず確認して下さい。

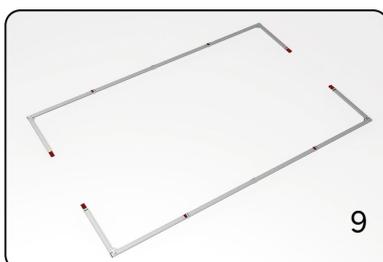
ロックが掛からない場合は「カチッ」と音が聞こえるまでロックボタンを押し込んでください。



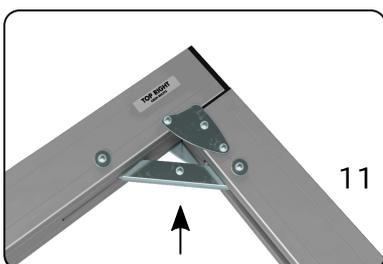
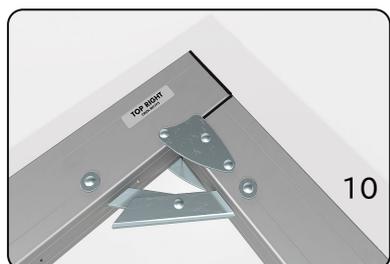
けがの恐れがありますので関節部ををロックする時は、指をはさまないように注意して下さい。

# スクリーン組み立て方法

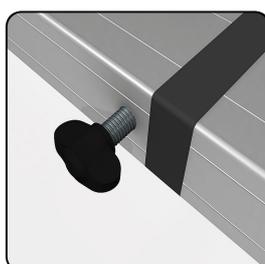
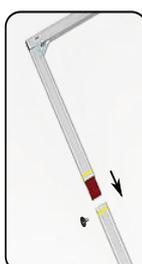
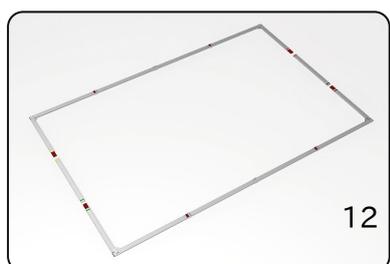
● フレームコーナーを広げます。



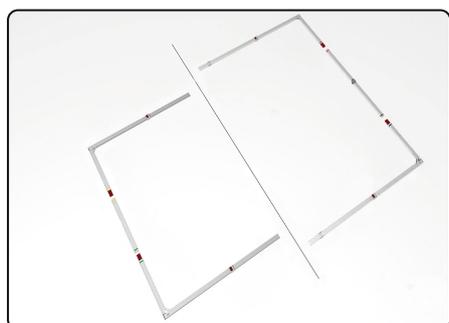
● コーナー金具をロックします。



● パーチカルモジュール(縦フレーム)をつなぎます。



※フレームジョイント部は  
M8×15mm蝶ボルト  
で固定します。



パーティカルモジュールを交換することで  
アスペクト比が変更できます。

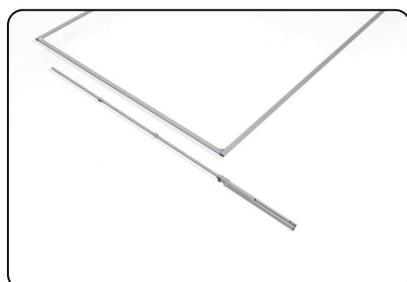
NTSC (4:3) ↔ HD (16:9) ↔ WUXGA (16:10)

※交換用パーティカルモジュールはオプション(別売)です。  
※別途、対応した交換生地が必要です。

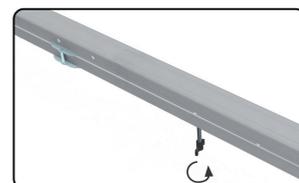


けがの恐れがありますのでコーナー金具ををロックする時は、指をはさまないように注意して下さい。

● スタンドの取り付け。



設置高さに合わせ取り付け位置  
を決めます。  
スタンド支柱をまっすぐに伸ばし  
スクリーンフレームに取り付けます。



付属の蝶ボルトで  
固定します。

## スクリーン組み立て方法

### ●イーザーフライ64の取り付け。

吊り込み設置(ボタン吊り等)する場合はワイヤーフックが掛けられるよう付属のイーザーフライ64(クランプホルダー式アイボルト)をフレームに装着してください。



アイボルトを締め付けてしっかり固定してください。  
アイボルトがゆるんでいるとホルダーが外れて落下する恐れがあります。



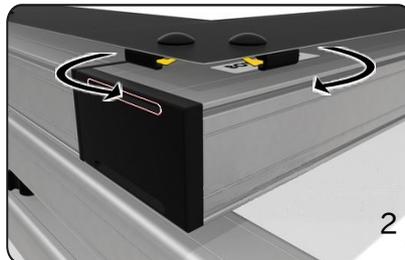
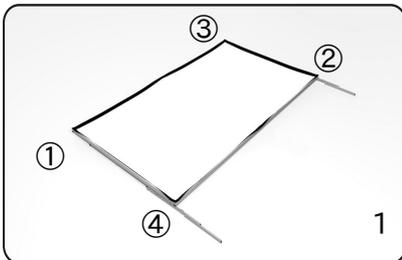
注意

ワイヤーは付属していませんので別途ご用意ください。

### (2) スクリーンの張り込み

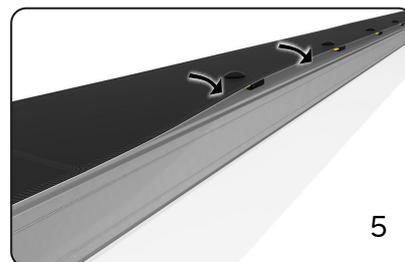
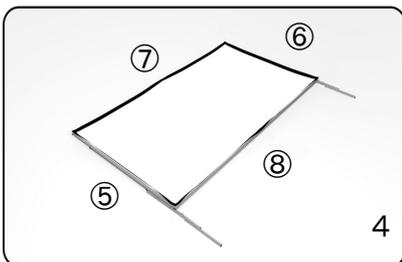
●クリップが付いた面を下にしてスクリーンをフレームの上に広げます。

●図1の順でコーナープラグスロットにクリップを掛けます。

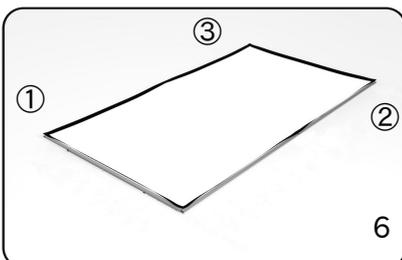


●図4の順にクリップを縦・横方向の順にフレームの溝に掛けていきます。

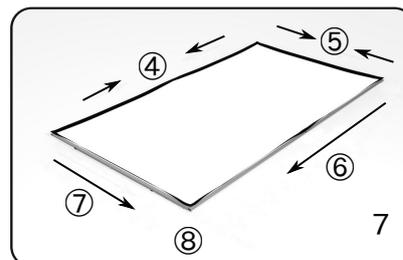
●スクリーンをフレームに押しえながら図5の矢印方向に引くとクリップが掛かっていきます。



●気温の低い時期はスクリーンが通常より縮みます。上記手順でスクリーンを張るのが難しい場合は以下の図6、図7の手順で張り込み作業を行ってください。



①～③の  
コーナー3ヶ所  
にクリップを掛  
けます。



④～⑥の順に  
各辺の→方向  
に順を追って  
クリップを掛  
けます。 ⑥

最後に⑧の  
コーナーに  
クリップを  
掛けます。



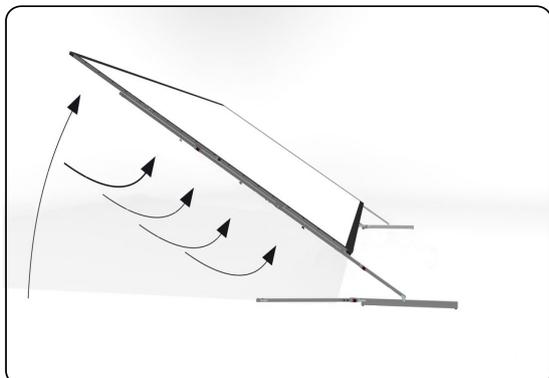
事前に暖房の効いた部屋に置くなどしてスクリーンを温めておくと張りやすくなります。

# スクリーン組み立て方法

## (3) スクリーンの設置

◆スタンドを使用した設置

●スクリーンを起こします。

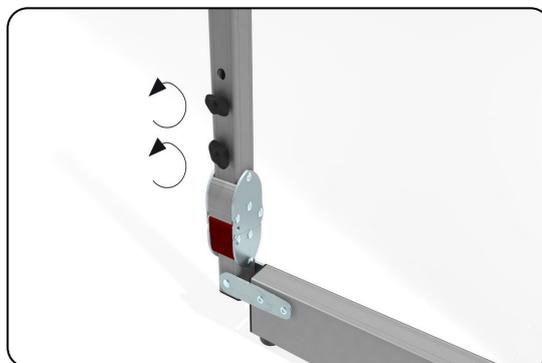
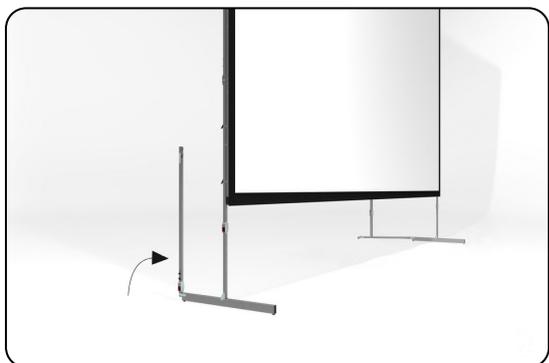


必ず4名以上で作業してください。

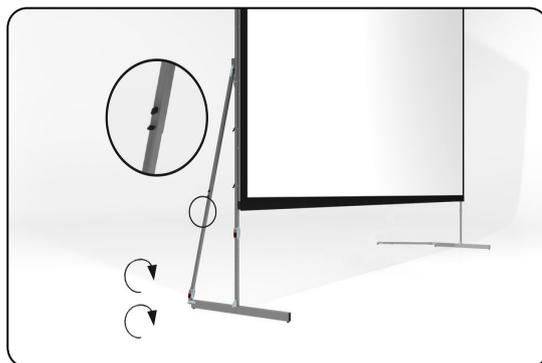


勢いを付けて急激に起こすとスタンド支柱に負担が掛かり破損の恐れがありますので慎重に作業してください。

●サポートバーを起こして伸縮部のノブネジ2箇所を反時計回りに回してロックを解除します。



●サポートバーを伸ばして先端を支柱の取り付け位置にあわせてM8×55mmの蝶ボルトで固定します。  
緩めたサポートバー伸縮部のノブネジを時計回りに回して固定してください。



ノブネジ・蝶ボルトは手で回して止まる程度の力で固定してください。  
外れなくなるなど故障の原因になりますので強く締めすぎることのないように注意してください。

◆吊り込み設置の場合

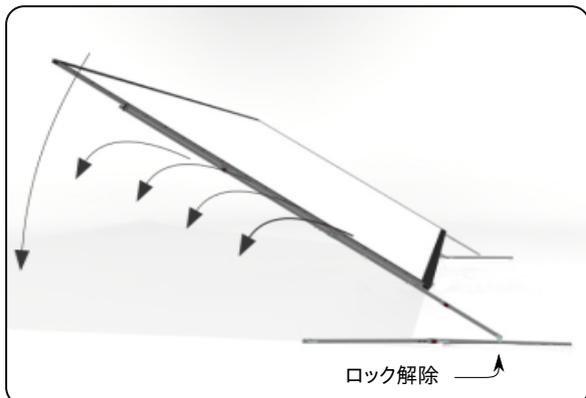
フレームに装着したイーザーフライを利用する場合は両端にフックの付いたワイヤーを用意してください。  
片側のフックをイーザーフライのアイボルトに掛け反対側のフックをボタンに掛けます。  
必要数のワイヤーを確実に掛けたらボタンを上昇させて所定の高さまでスクリーンを吊り上げます。



ワイヤーはスクリーン重量に応じた適切なものを使用してください。  
警告 不適切なワイヤーを使用した場合はスクリーンが落下し重大な事故が発生する恐れがあります。

# スクリーンの片付け方法

## (1)スクリーンの取り外し



- スタンド支柱根元のロックを解除します。
- スタンドのサポートバーを外してスクリーンを静かに床に寝かせます。

**!** 必ず4名以上で作業してください。

- 図1のように縦横2辺のクリップを外します。

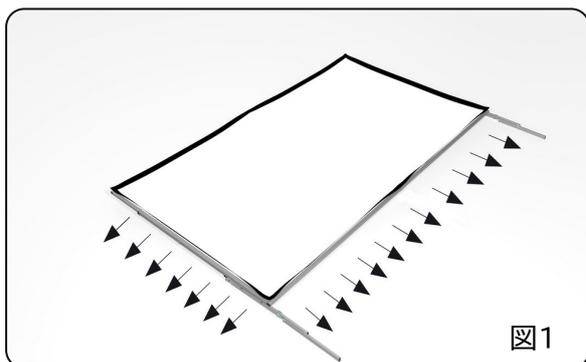


図1

- 図2の矢印の方向にスクリーンをずらしてフレームから外します。

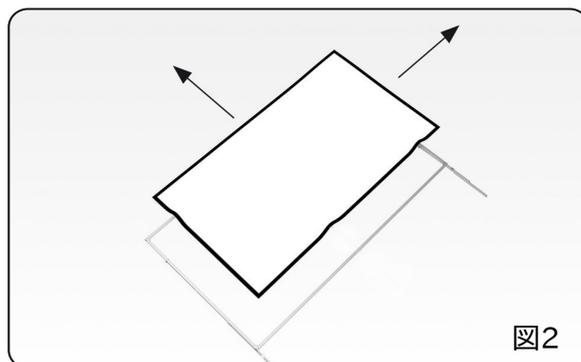


図2



クリップの外し方: マスク部分をフレームに押し付けるようにしながら外側に引くとクリップが外れます。



スナップボタン式スクリーンのようにフレームから引き剥がす方法は行わないでください。クリップ部が破損するなど故障の原因になります。

## (2)スクリーンの収納

- フレームから外したスクリーンは元のように折りたたんで専用の収納バックに入れてください。
- フレーム及びスタンドは折りたたんでください。
- 付属品の蝶ボルトは専用のイエローポーチに入れてください。

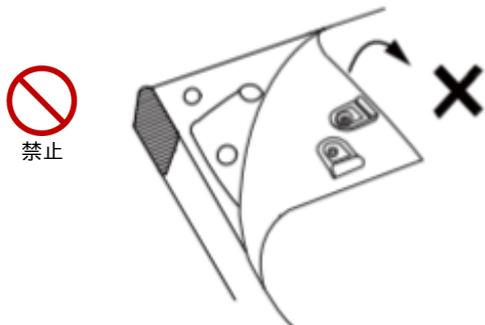


最後にフレーム、スタンドや付属品全てのパーツがあるか確認して専用のハードケースに収納してください。

## 使用上のご注意

スクリーンはどなたにでも簡単に組み立てることが出来る方式ですが、お取り扱い方法によっては生地が裂けるなど破損のおそれがあります。破損してしまうと元のように修復するのは困難です。スクリーンを永くご使用して頂くために以下のことに十分注意して丁寧にお取り扱い頂きますようお願い致します。

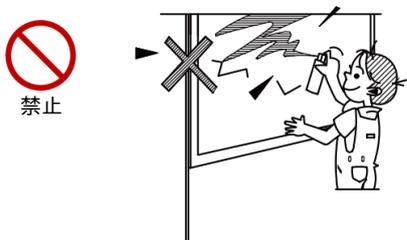
- スクリーンを外す際に剥がすようにめくるとクリップ部分が破損する恐れがあります。



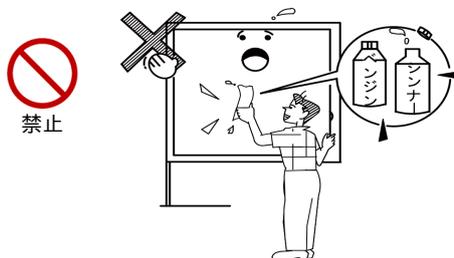
- 気温が低い時期はスクリーン生地が冷えて硬化するので暖房の効いた部屋などで温め、やわらかくしてから使用してください。



- スクリーン面に文字など書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



- シンナー等溶剤系のものでスクリーン面を拭かないで下さい。スクリーンの表面が変質したり傷めてしまいます。



## お手入れの仕方

- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。付着した汚れは洗剤で濡らしたスポンジで落とし、タオル地の柔らかい布で水拭き、乾拭きをしてください。



## 置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。

スクリーンは専用スタンドによる自立設置またはワイヤーなどを使用した吊り込みによる設置方法を想定して設計されています。それ以外の設置方法や誤った取り扱いによって発生した全てのトラブルに関しまして当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承願います。





株式会社 キクチ科学研究所

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-35  
TEL.03-3952-5131(代) FAX.03-3953-0051

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江 1-5-2  
四ツ橋新興産ビル 10 階 100B  
TEL.06-6567-9035(代) FAX.06-6567-9036  
<http://www.kikuchi-screen.co.jp>

KIKUCHI SCIENCE LAB.MBLC 2023.04